

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。正しくお使いいただくためにこの組立説明書をよくお読みになり内容を理解されたうえでご使用くださいますようお願いいたします。

**警告** この表示を無視して誤った取扱いをした場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**法令・規約を守り設置する。**  
ベランダやバルコニーに設置する場合、消防法上、仕切り板・避難ハッチ・消防隊進入口サッシの傍には、設置を避ける義務があります。設置にあたっては、管理組合にご相談ください。また、お子様が踏み台にして、転落しないように、十分ご注意ください。

**危険物・薬品・壊れ易い物・生き物を入れない。**  
思いがけない事故につながるおそれがあります。

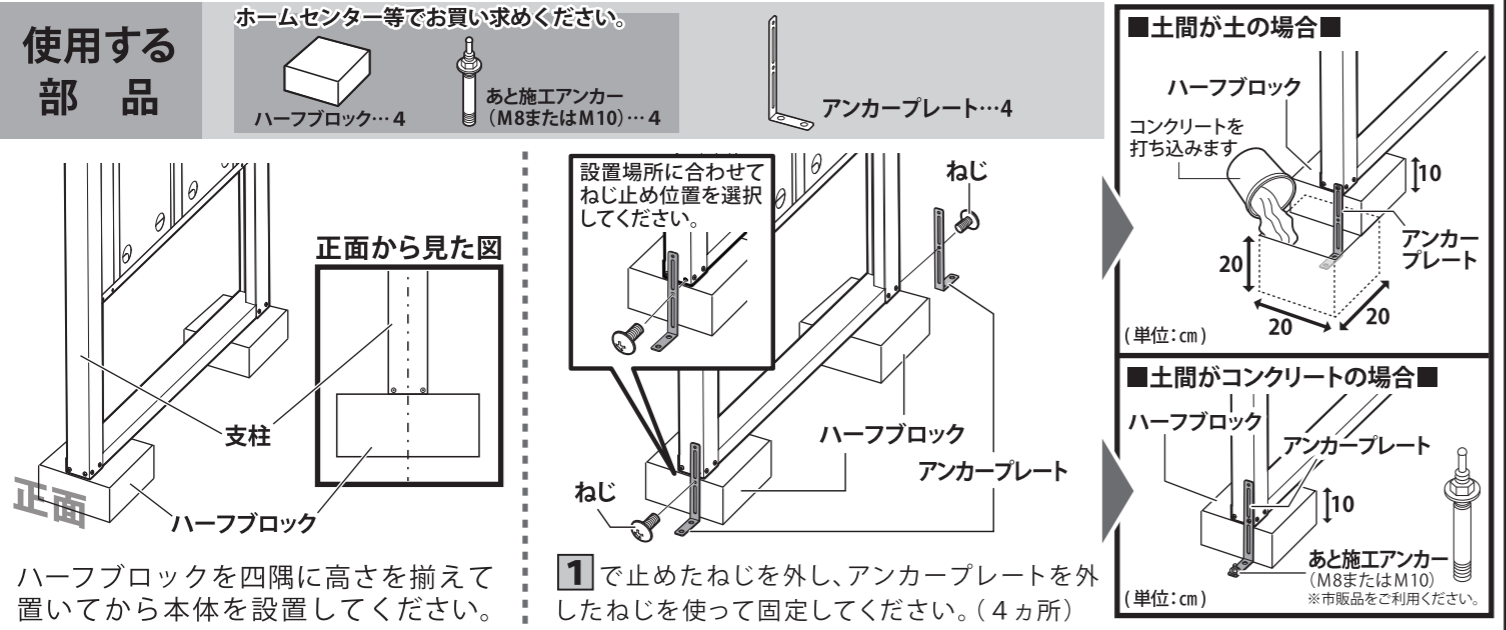
**注意** この表示を無視して誤った取扱いをした場合、使用者が傷害を負う危険が想定される、又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 組立て時、手袋をはめる。**  
製品は鋼板製の為、部品の角部で手を切るおそれがあります。
- 平らな場所で組み立て、本体を水平保持設置する。**  
転倒やけがのおそれがあります。
- 上に上がったり、もたれかかったり物をたてかけたりしない。**  
本体の変形・破損、けがのおそれがあります。
- 天板の上に物を載せたり、上がったりしない。**  
本体の変形・破損、落下転倒のおそれがあります。
- ねじ止めはしっかり行う。**  
振動などで倒れてけがをするおそれがあります。
- 火気のそばに設置しない。**  
燃えるおそれがあります。
- 収納物は確実に入れ、貴重品等は収納しない。**  
盗難のおそれがあります。
- 積雪時は早めに除雪を行う。**  
天板耐荷重900N/m<sup>2</sup>(90kgf/m<sup>2</sup>) 相当する雪の深さ/約45cm
- 変形・破損等の状態で使用しない。**  
けがをするおそれがあります。
- 用途以外で使用しない。**  
本体の変形・破損、けがのおそれがあります。
- 強風・地震等に備え、転倒防止に十分配慮する。**  
特に安全が確認できない傾斜地、屋上、高所、風当たりの強い場所への設置はしないでください。
- 大屋根から雨水や雪が直接落ちる場所には設置しない。**  
破損・倒壊のおそれがあります。
- 本体角の尖り注意**  
構造上、本体角部が尖っている為、十分に注意してご使用ください。
- 組立時、長尺部品の振り回しに注意**  
部品の破損、けがのおそれがあります。
- 本製品の中や周辺で子どもを遊ばせない。**  
事故やけがのおそれがあります。
- 給湯器の前には設置しない。**  
排気による中毒や、塗装劣化のおそれがあります。

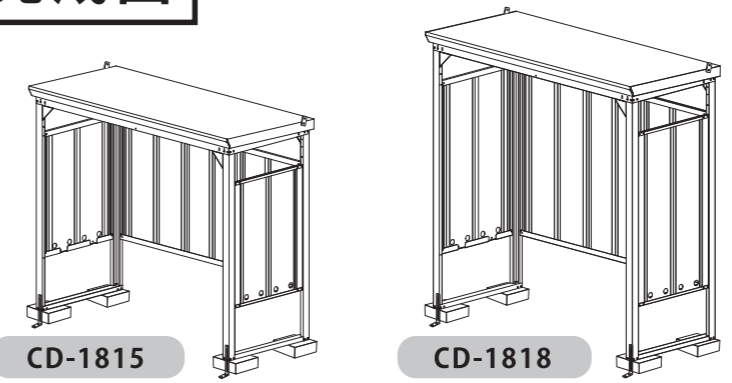
**製品仕様**  
材質:本体・・・スチール(焼付塗装)

**●スチールのお手入れ方法**  
著しい汚れは、うすめた中性洗剤を浸した柔らかい布をかたくしぼって汚れをふき取り、からぶきしてください。  
ⓧたわし(金属たわし等)や研磨剤入りの洗剤、アルカリ洗剤、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使用しないでください。傷・変色等原因になります。

**アンカー止め必須**



**完成図**

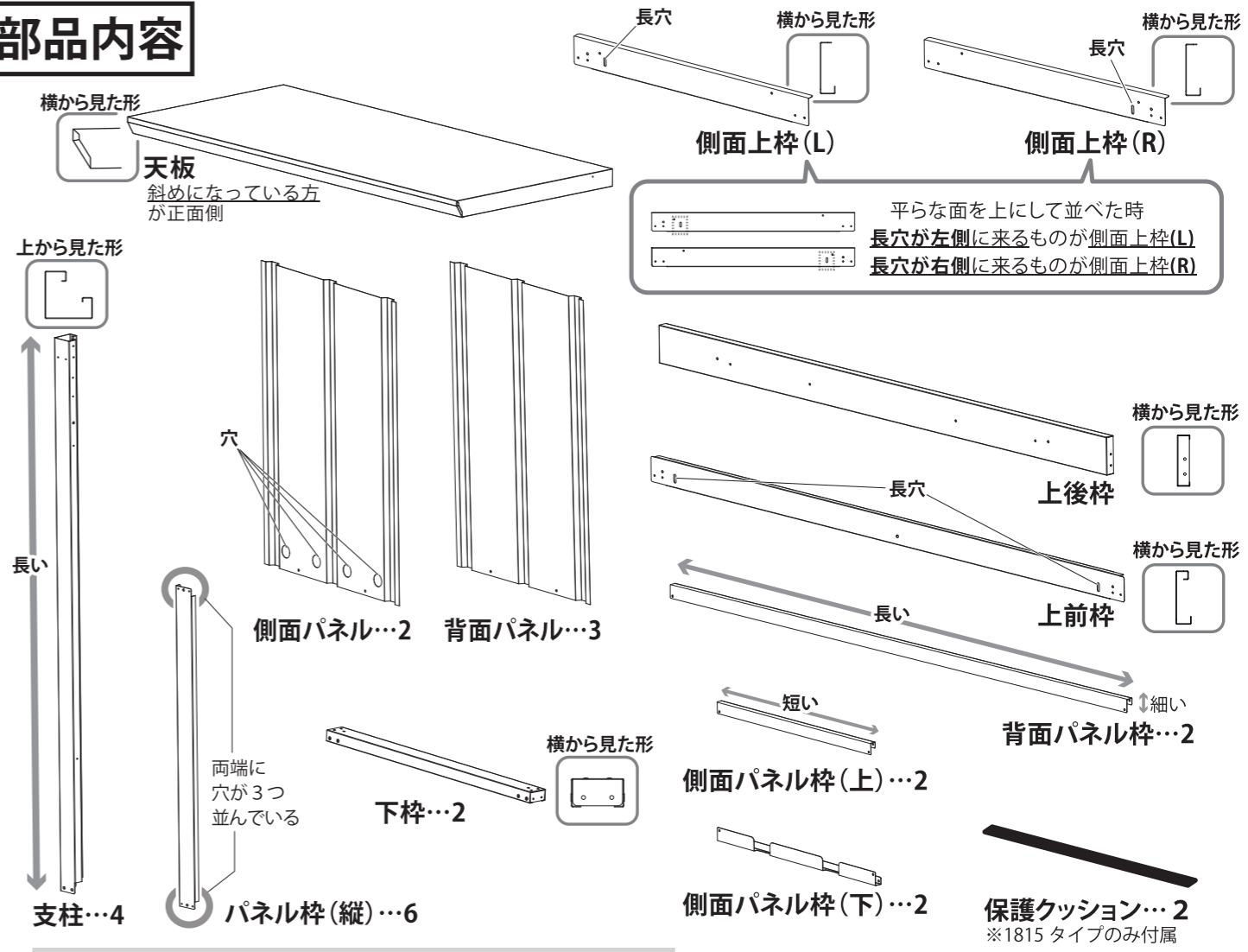


**組立ての前に必ずお読みください。**

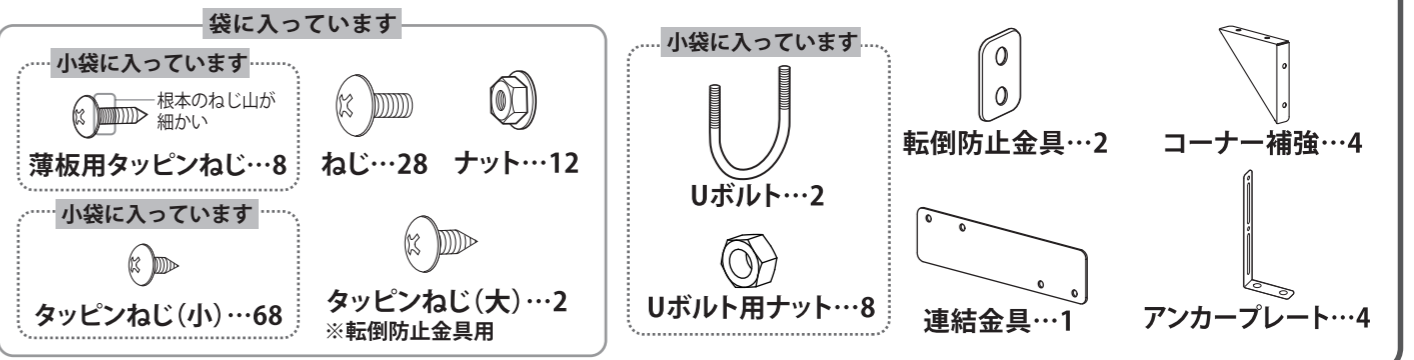
- 部品内容をご確認の上、正しく組み立ててください。
- にぎり手の太い⓪ドライバーをご用意ください。(電動ドライバーのご使用はおやめください。)
- 必ず手袋を着用してください。
- 広く平らな場所で組み立ててください。



**部品内容**



個装箱②-1内 天板裏の小箱の中に入っています。



**タッピンねじは 押し込むように 徐々に力を入れて締め込んでください**  
タッピンねじは取付け穴に徐々にねじ溝を作りながら締めるためのねじです。取付け穴よりねじの方が大きくなっているため、押し込むように徐々に力を入れて締め込んでください。タッピンねじを取り付ける際は、ドライバー先端の⓪部分とタッピンねじの⓪が合うドライバーで取り付けてください。ドライバーの握り部分が太く長めのものをご使用されたほうが楽に取付けできます。

ご不明点がございましたら、二次元コードよりWebサイトの「お問合せ」、もしくは「よくある質問」をご確認ください。通信料金はお客様のご負担となります。

製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。  
●ご不明点がございましたら下記フリーダイヤル、グリーンライフ「お客様サービス係」までお問い合わせください。

フリーダイヤル 受付窓口 **0120-717152**

受付時間▶9:00~17:00(土・日・祭日・夜間)は留守番電話になります。

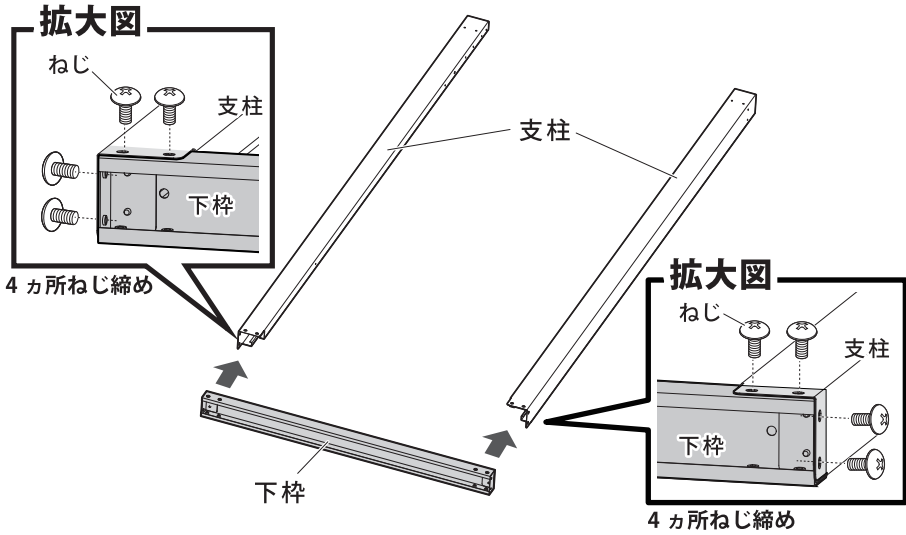
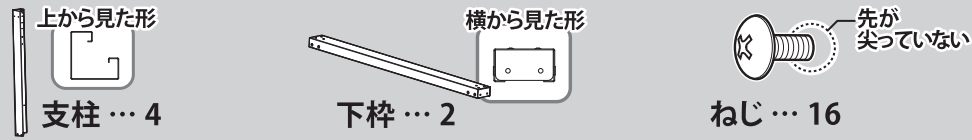
**株式会社 グリーンライフ**

本社 新潟県三条市南四日町3-7-58  
〒955-0852 TEL(0256)36-4001(代)  
FAX(0256)36-4050  
E-mail: niigata@greenlife-web.co.jp  
URL: https://www.greenlife-web.co.jp

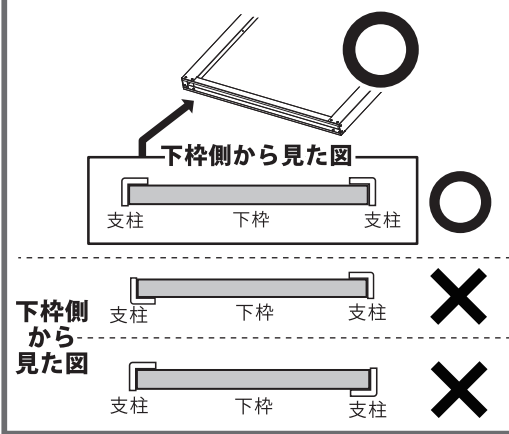
CD-1815(1/2P) 00

# 1 支柱・下枠

使用する  
部品



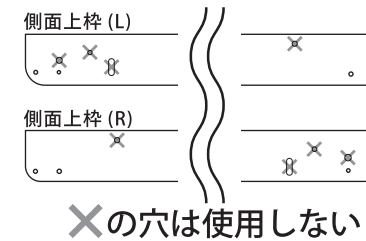
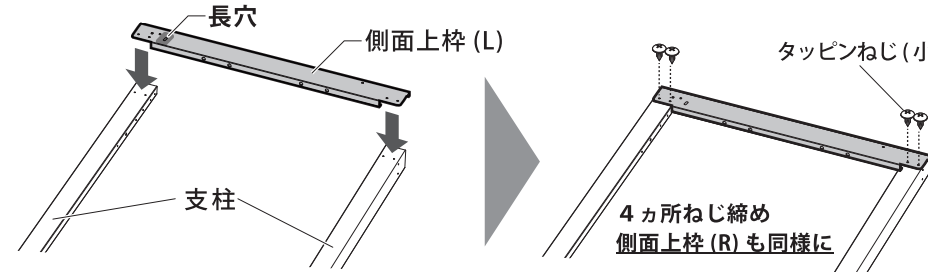
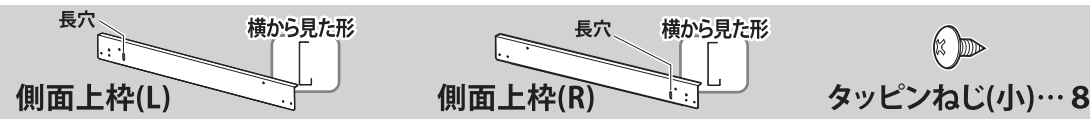
**Point!** 支柱は左右対称になるように組付けてください。



支柱と下枠を図のように組み合わせ、ねじでしっかりと固定します。(8カ所) 同様の手順でもう1セット作ります。

# 2 側面上枠

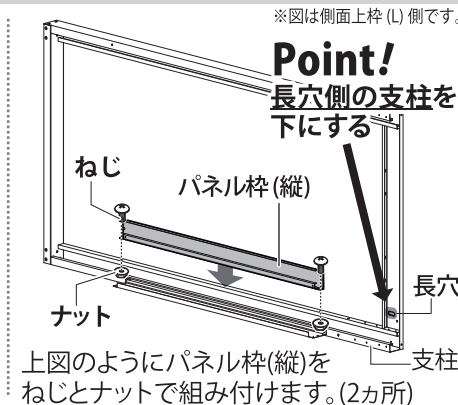
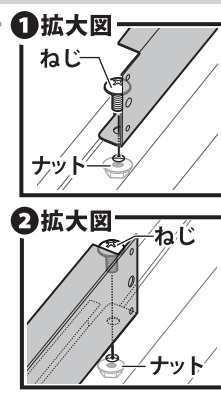
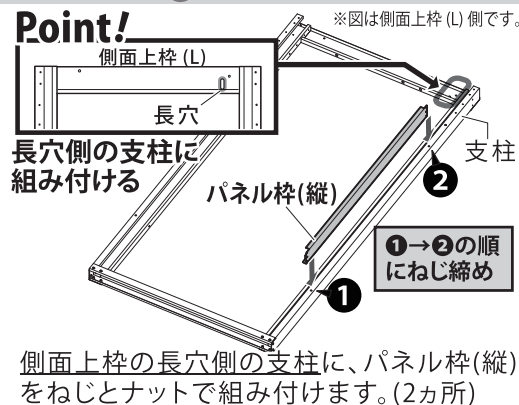
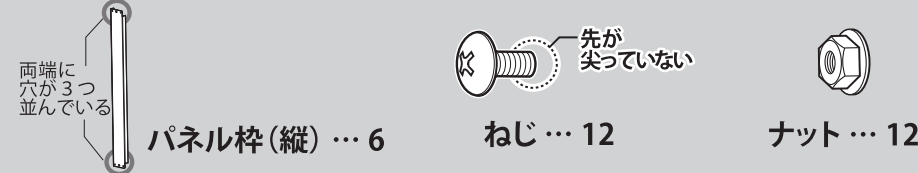
使用する  
部品



1で組み合わせた支柱に、側面上枠(L)(R)をタッピンねじ(小)で組み付けます。(側面上枠1つにつき4カ所)

# 3 パネル枠(縦) ⚠️必ず二人以上で作業を行ってください。

使用する  
部品



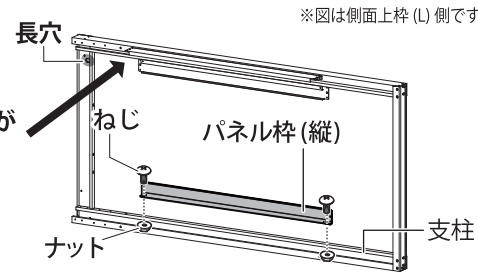
2で組み合わせたものを裏返します。

側面上枠の長穴側の支柱に、パネル枠(縦)をねじとナットで組み付けます。(2カ所)

上図のようにパネル枠(縦)をねじとナットで組み付けます。(2カ所)

**Point!**

長穴側の支柱が上になるようにひっくり返す

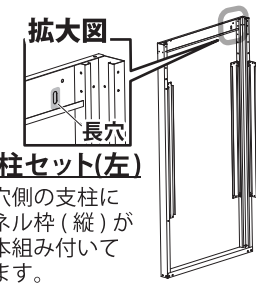


上図のようにひっくり返し、下側の支柱にパネル枠(縦)をねじとナットで組み付けます。(2カ所)

拡大図

支柱セット(左)

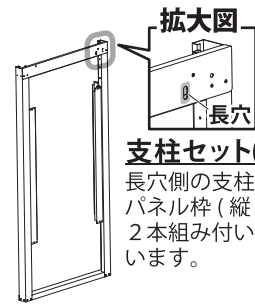
長穴側の支柱にパネル枠(縦)が2本組み付いています。



拡大図

支柱セット(右)

長穴側の支柱にパネル枠(縦)が2本組み付いています。

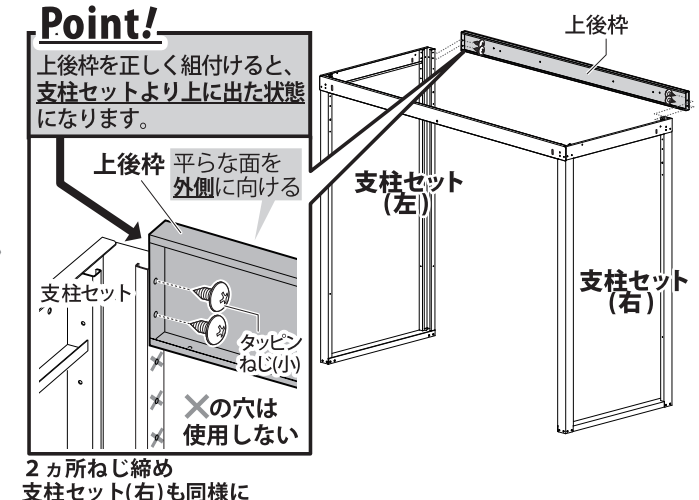
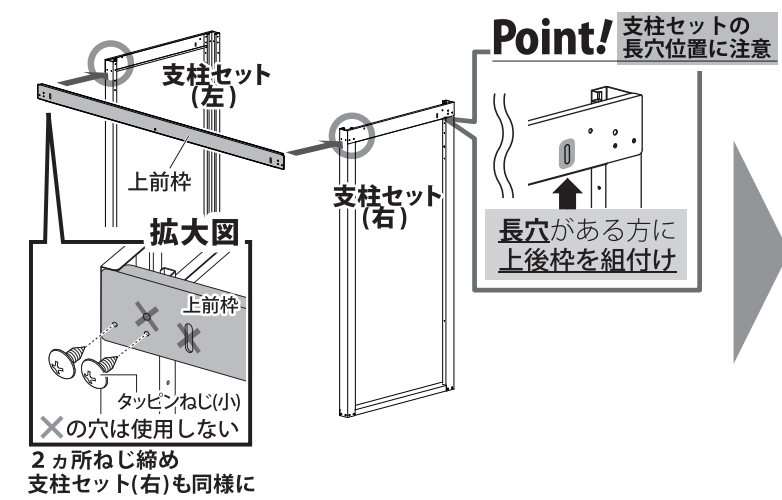
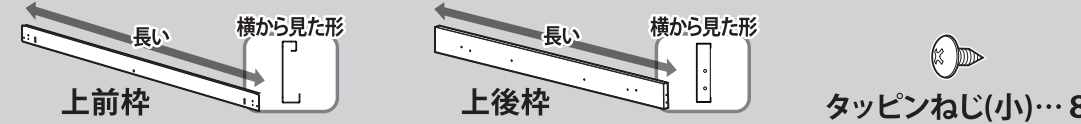


もう一方も同様に組み付けを行い、支柱セット(左)(右)を作ります。

# 4 上前枠・上後枠 ⚠️必ず二人以上で作業を行ってください。

※イラストは1815タイプです。

使用する  
部品

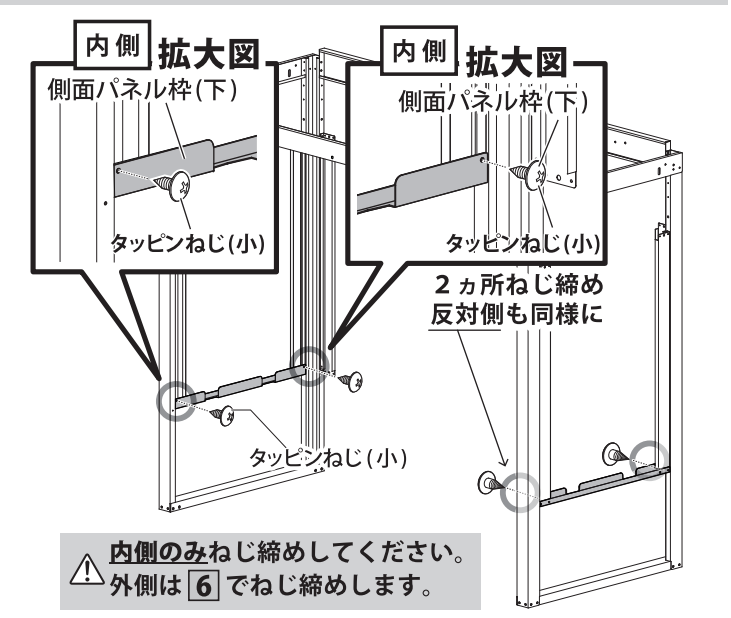
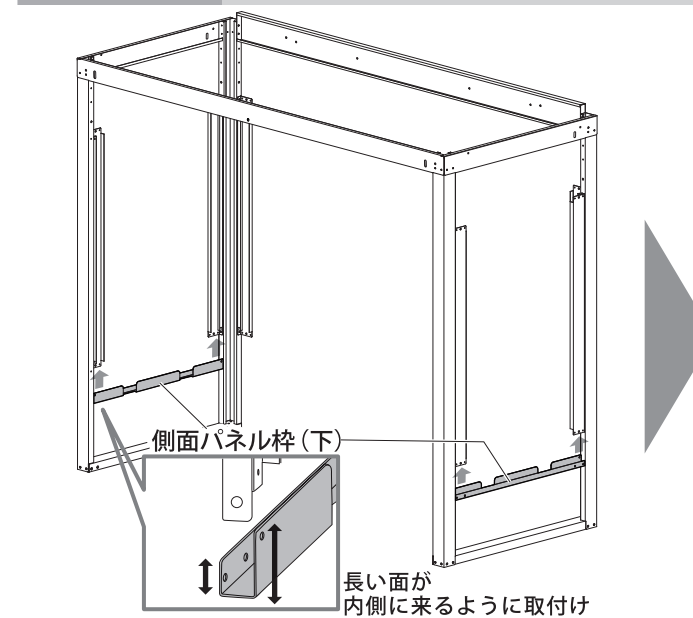


側面上枠の向きに注意しながら、図のように上前枠、上後枠をタッピンねじ(小)で組み付けます。(8カ所)

# 5 側面パネル枠(下)

※イラストは1815タイプです。

使用する  
部品



3で組み付けたパネル枠(縦)に、図のように側面パネル枠(下)をタッピンねじ(小)で組み付けます。(4カ所)

内側のみねじ締めしてください。外側は6でねじ締めします。

6以降は同梱の別紙を参考に組立を行ってください。

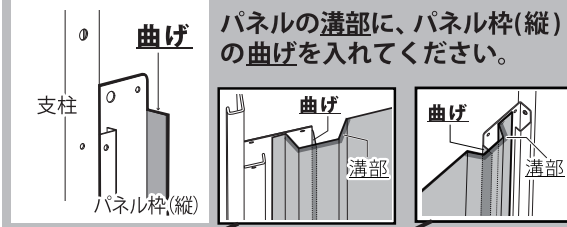
## 6 側面パネル

※イラストは1815タイプです。

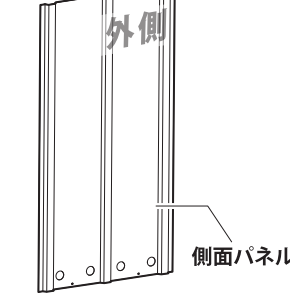
使用する  
部品



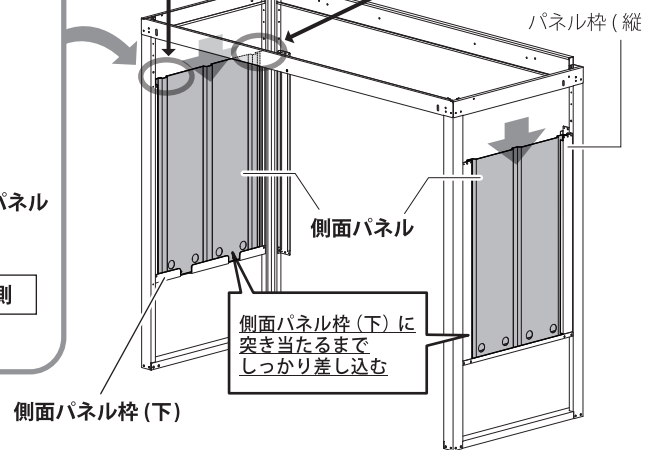
**Point!**



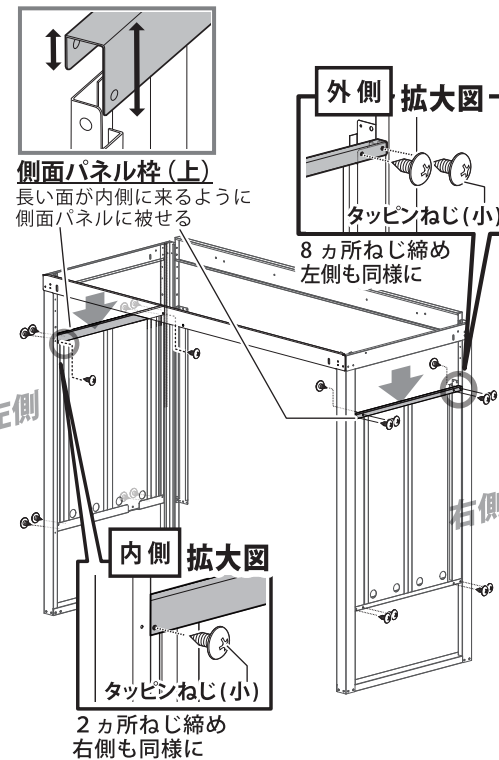
内側



穴の開いている方が下側



図のようにパネル枠(縦)に側面パネルを通します。その際、側面パネルの向きに注意してください。

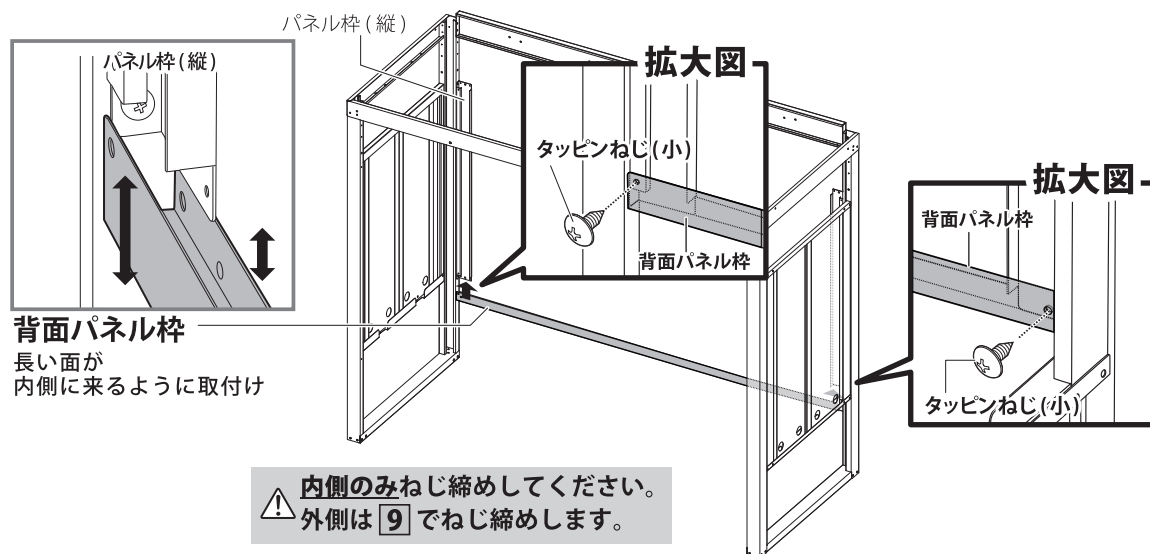
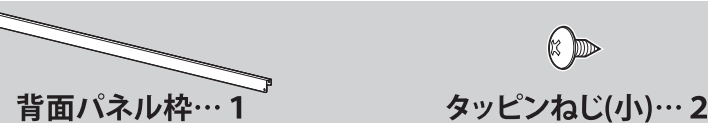


側面パネル枠(上)を、図のように側面パネルの上に被せ、タッピンねじ(小)で組み付けます。(20カ所)

## 7 背面パネル枠

※イラストは1815タイプです。

使用する  
部品



内側のみねじ締めしてください。外側は9でねじ締めします。

図のように本体に組付けたパネル枠(縦)に、背面パネル枠をタッピンねじ(小)で組み付けます。(2カ所)

## 8 背面パネル

※イラストは1815タイプです。

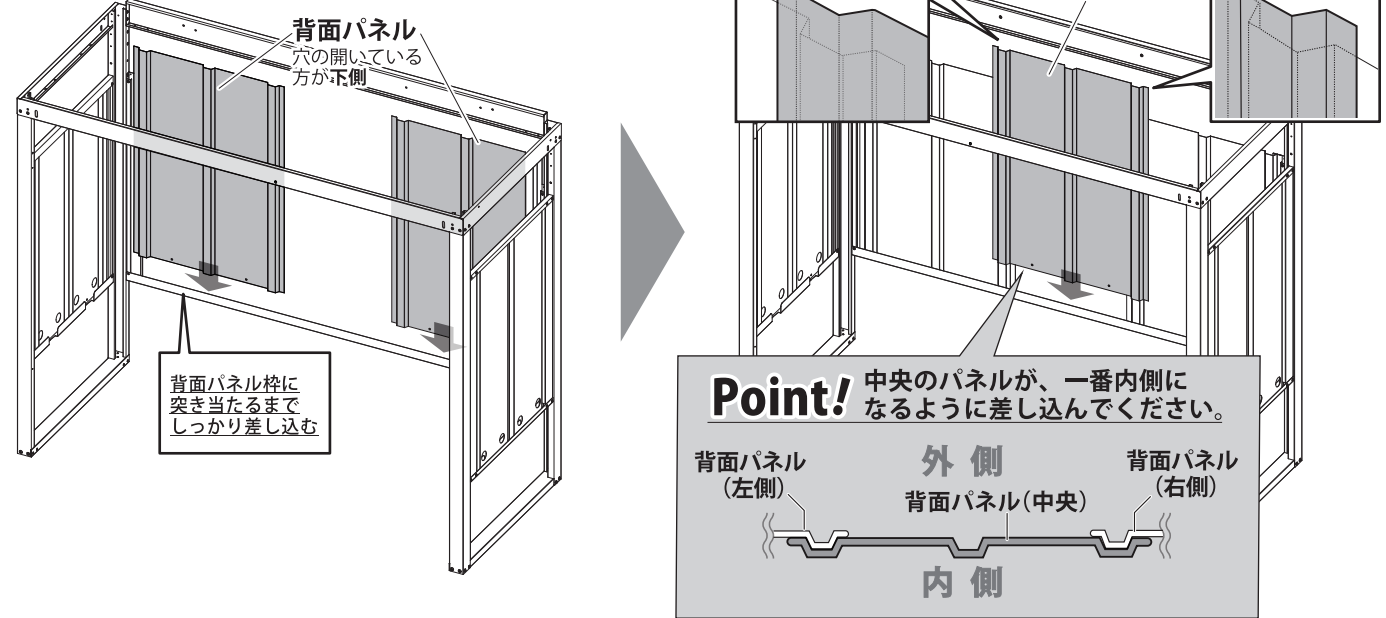
使用する  
部品



差し込んだ背面パネルは9で固定します。それまではパネルが固定されないので手で支えながら作業を行ってください。

**Point!**

6と同様に、背面パネルの溝部に、パネル枠(縦)の曲げを入れてください。

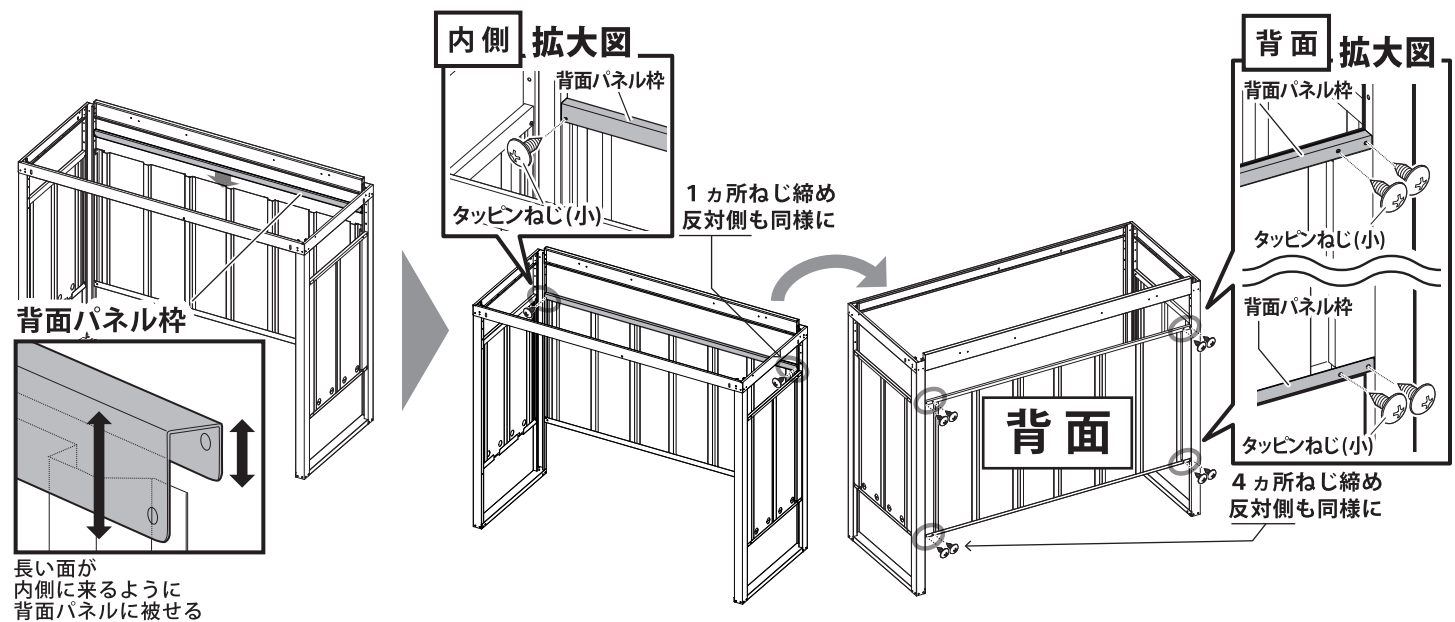
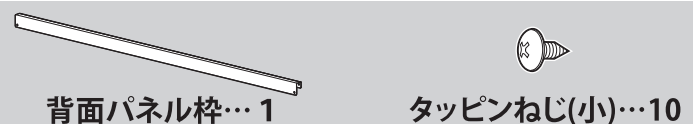


6と同様、背面パネルの向きに注意しながら、パネル枠(縦)に背面パネルを通します。中央の背面パネルが一番内側になるように差し込んでください。

## 9 背面パネル枠

※イラストは1815タイプです。

使用する  
部品

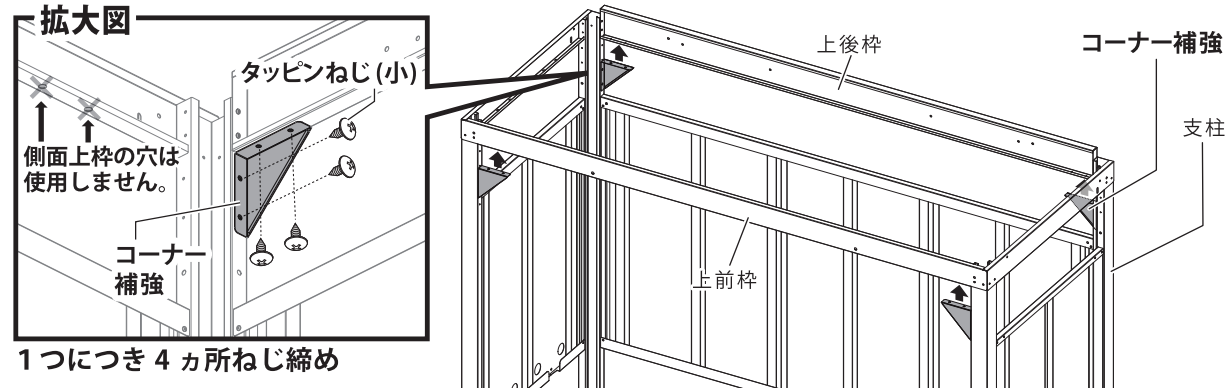


背面パネル枠を図のように背面パネルの上に被せ、タッピンねじ(小)で組み付けてください。(10カ所)

## 10 コーナー補強

※イラストは1815タイプです。

使用する  
部品

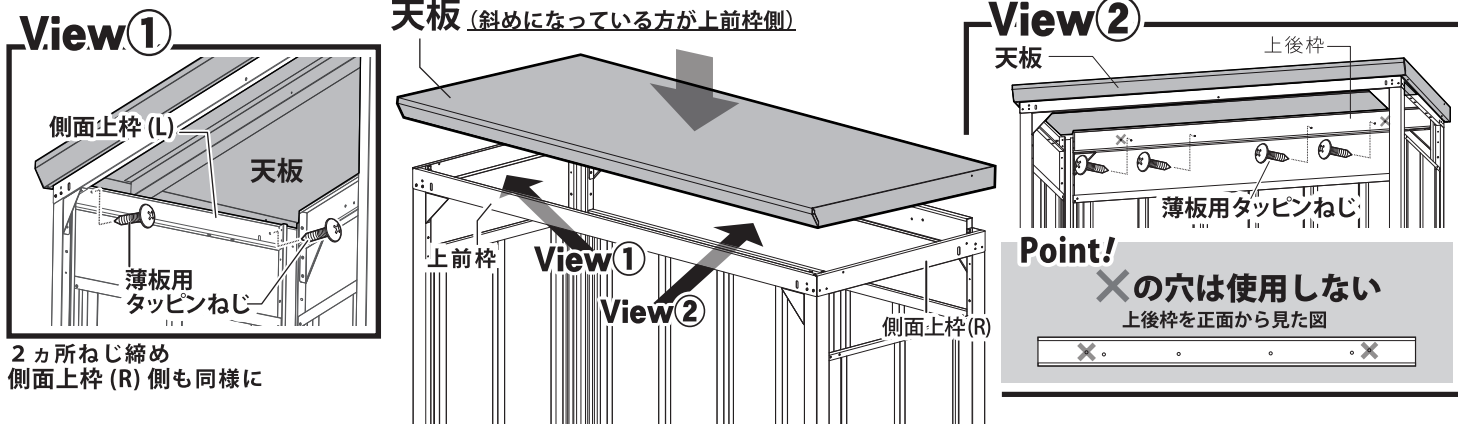
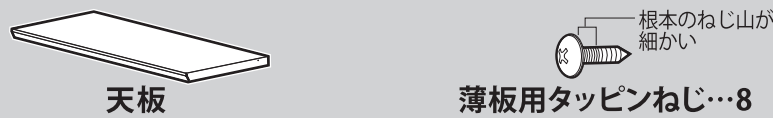


コーナー補強を図のように支柱、上前枠、上後枠にタッピンねじ(小)で組み付けてください。(16カ所)

## 11 天板 ⚠️必ず二人以上で作業を行ってください。

※イラストは1815タイプです。

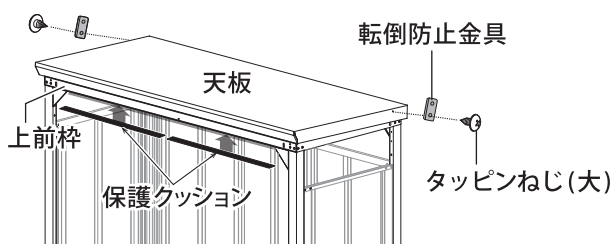
使用する  
部品



組み立てた本体に天板を載せ、側面上枠(L)(R)、上後枠に薄板用タッピンねじで組み付けてください。(8カ所)

## 12 転倒防止金具・保護クッション

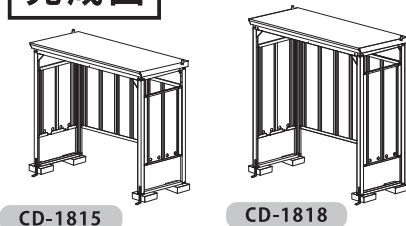
使用する  
部品



図のように転倒防止金具をタッピンねじ(大)で組み付けてください。(2カ所)

※CD-1815の場合は、図のように保護クッションを貼り付けてください。

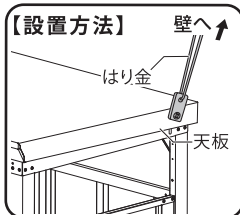
### 完成図



①アンカー止め必須  
設置時は必ず別紙のアンカー止めの方法をご確認  
頂き、アンカー止めを行ってください。

① 転倒防止の為、転倒防止金具は必ず取り付けてください。

転倒防止金具の取付けがされていない場合、強風等により転倒し、傷害事故や物的損害を招くおそれがあります。



設置の際は、はり金を転倒防止金具に通してから壁などに接続し、仮止めしたねじをしっかり止め、固定してください。はり金は最寄りのホームセンターなどで買い求めください。

## ● Uボルトの取付け

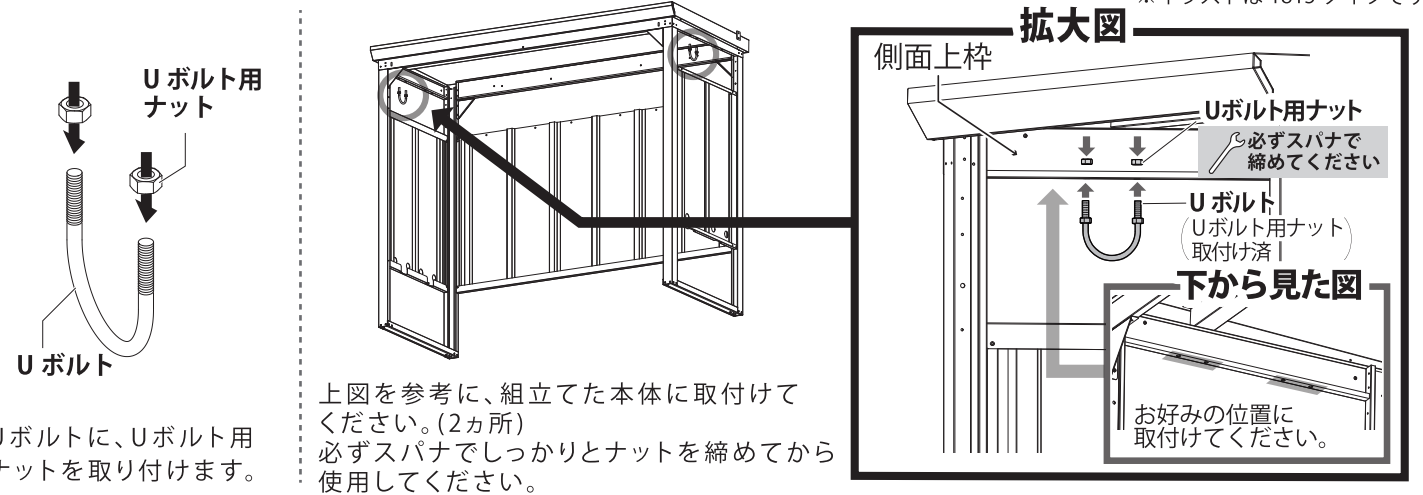
スパナをご用意ください

使用する  
部品



※イラストは1815タイプです。

付属のUボルトを取付けることで、物干し竿(別売)を通して物干しスペースとしても利用できます。



上図を参考に、組み立てた本体に取付けてください。(2カ所)  
必ずスパナでしっかりとナットを締めてから使用してください。

## ● SRMシリーズとの連結

使用する  
部品



※イラストは1815タイプです。

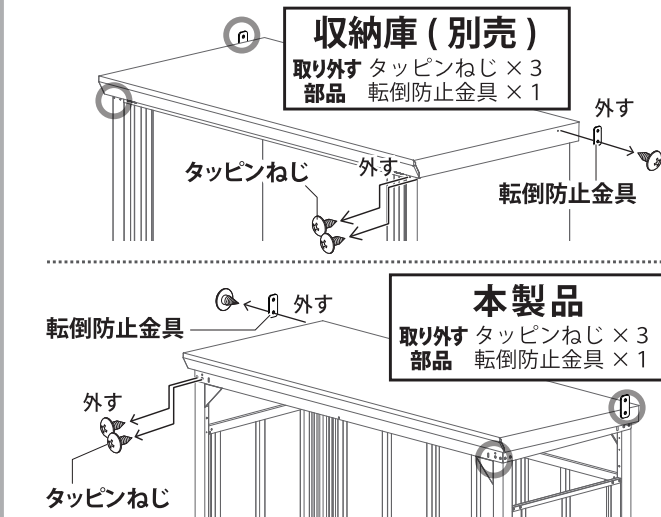
付属の連結金具を使用することで、グリーンライフ製収納庫SRM-0915/1215/1515/1815/0918(別売)と連結することができます。

CD-1815  
と連結可能

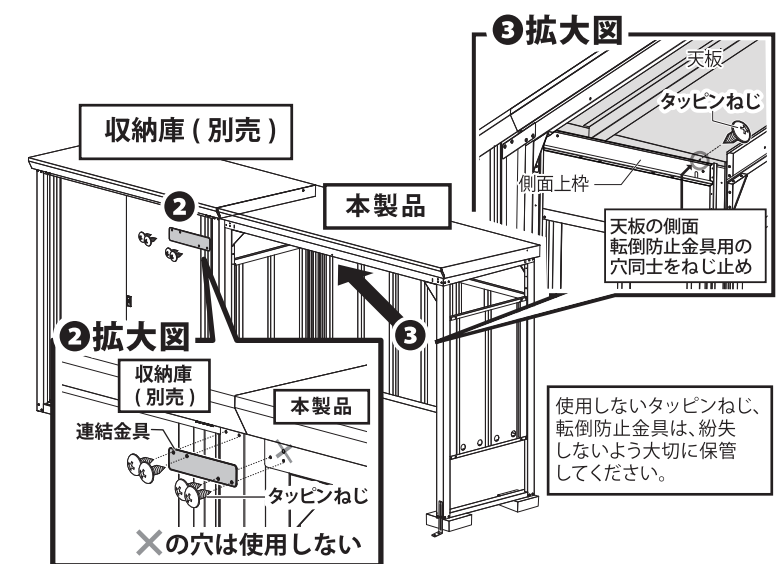
SRM-0915 / 1215 / 1515 / 1815

CD-1818  
と連結可能

SRM-0918



① SRMシリーズの収納庫(別売)と本製品のタッピンねじ、転倒防止金具を取り外します。  
(本製品の右側に収納庫を連結させたい場合は上図の通り、本製品の左側に収納庫を連結させたい場合は○側のねじと転倒防止金具を取り外してください。)

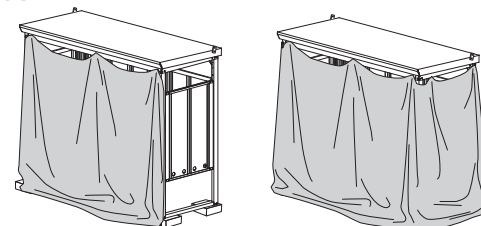


② 連結金具を①で取り外したタッピンねじで取り付けます。  
③ 本製品の内側から、上図のようにタッピンねじで固定します。  
※上図と逆側に取り付ける場合も同様の手順で組み付けを行ってください。

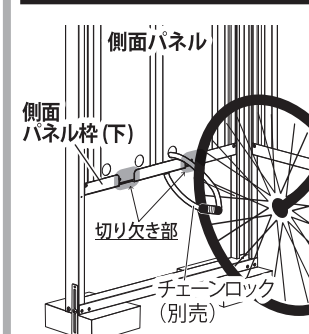
## ● ビニールシートの取付け

上前枠、側面上枠の穴にフック(別売)等を通す事でビニールシート(別売)をかけることができます。

〈取付例〉



## ● チェーンロックを使用する場合



側面パネル下部の穴に、チェーンロック(別売)を通してお手持ちの自転車を施錠することができます。

※チェーンロックで施錠する場合は、側面パネル枠(下)の切り欠き部にタイヤを入れて施錠してください。